

特色ある取り組み

2017年度 お茶の水女子大学賞授与式



湯浅 年子氏



黒田 チカ氏



小泉 郁子氏



保井 コノ氏



辻村 みちよ氏

2018年3月6日(火)にお茶の水女子大学賞各賞(湯浅年子賞、黒田チカ賞、小泉郁子賞、保井コノ賞、辻村みちよ賞)の授与式を行いました。湯浅年子賞(以下湯浅賞)は、優れた原子核の実験的研究を行い国際的に活躍した女性自然科学者湯浅年子博士を称え、また黒田チカ賞(以下黒田賞)は天然色素の構造について長年にわたって優れた研究を行い女性化学者として活躍した黒田チカ博士を称えて自然科学関係の女性研究者に対する顕彰のために化学科の前田候子元教授からのご寄附を基に設立されたものです。今年度の湯浅賞には該当者がおりませんでした。第3回黒田賞は秋山央子氏(理化学研究所脳科学総合研究センター神経膜機能研究チーム研究員)の「新規糖化ステロールの発見と生理作用の解析に関する研究」及び内川瑛美子氏(テキサス大学サウスウェスタンメディカルセンターポストドクトラルフェロー)の「抗ウイルスパターン認識受容体LGP2とMDA5のdsRNA結合構造の解析に関する研究」に対してそれぞれ贈られました。

また昨年度より、本学卒業後アメリカに留学し『男女共学論』を著すなどの社会的活動を通じて女性の権利向

上を広く訴えるとともに日中教育文化交流に尽力し戦後は桜美林学園の創設発展に貢献した小泉郁子氏、日本の生物科学の黎明期から革新的な研究を展開するとともに本学及びその前身校において数多くの女子学生を育て日本初の女性理学博士となった保井コノ氏、本学卒業後数多くの女子学生を育て茶の成分について長年にわたって優れた研究を行い日本初の女性農学博士として活躍した辻村みちよ氏の功績を称えるため、それぞれ小泉郁子賞(以下小泉賞)、保井コノ賞(以下保井賞)、辻村みちよ賞(以下辻村賞)を創設し、この日に授与式を行いました。

第2回小泉賞は佐藤至子氏(日本大学文理学部教授)の「江戸末期の草双紙・合巻の校訂および研究」に対して、第2回保井賞は柳澤実穂氏(東京農工大学工学研究院先端物理工学部門特任准教授)の「バイオミメティックセルに関する生物物理学的研究」に対して、第2回辻村賞は光畑由佳氏(有限会社モーハウス代表取締役)の「産後の新しいライフスタイルの提案のための授乳服の開発」に対し、それぞれ贈られました。

授与式では各賞のゆかりの方々列席のもと室伏学長

から賞状と副賞の盾が授与され、お祝いの言葉がかけられました。本学は今後もこれまでに築かれた歴史と伝統を基盤として、広い視野と豊かな感性をもって未来を担う女性たちの育成に取り組んで参ります。



第3回 黒田チカ賞

秋山 央子氏

(理化学研究所脳科学総合研究センター神経膜機能研究チーム研究員)

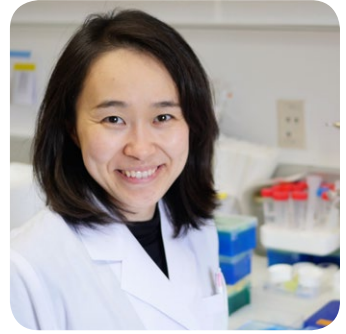
私は現在、パーキンソン病などの脳疾患の治療を目指して脂質代謝に着目した研究を行っています。この研究は、お茶の水女子大学大学院在籍時の思いがけない発見がきっかけとなってスタートしました。根気よく指導してくださった先生方や共同研究者の方々、共に励まし合った仲間のお陰でこれまで研究を続けてこられたことに感謝しています。今回いただいた賞を励みに、多くの人の助けとなる研究を発信できるように精進していきたいと思っております。



内川 瑛美子氏

(テキサス大学サウスウェスタンメディカルセンターポストドクトラルフェロー)

このたび黒田賞を頂き大変嬉しく思っております。博士後期課程在学中にフランスに渡り、現在はアメリカで電子顕微鏡を用いたタンパク質の構造解析の研究を行っております。最先端の研究に携わり続けるのは挑戦の日々ですが、多くの人との出会い、サポートによってこれまでわくわくするような研究を続けることができている。この賞を励みに日々の研究に邁進し、研究成果を通して社会に貢献できればと思っております。



第2回 小泉郁子賞

佐藤 至子氏

(日本大学文理学部教授)

このたびは小泉郁子賞を頂戴し、大変光栄に存じます。選考にあたっていただきました先生がたに心より御礼を申し上げます。文教育学部在学中に堤精二先生・市古夏生先生にお導きいただき、江戸時代の文学を研究する道に進むことができました。以来、合巻と呼ばれる絵入り小説を中心に、出版や芸能などにも視野を広げつつ研究を続けています。このたびの受賞を励みに、今後も初心を忘れず、研究と教育に力を尽くしたいと思います。



第2回 保井コノ賞

柳澤 実穂氏

(東京農工大学工学研究院先端物理工学部門特任准教授)

このたび保井コノ先生の名前を冠した賞を頂き、大変光栄に思います。私は2009年3月にお茶の水女子大学で博士(理学)を取得してから、生物細胞の構成成分である膜や液体・固体(ゲル)を単純化したモデルの物理的な解析を通し、生物細胞で現れる特異的な物理現象を解明する研究をして参りました。今後はこうした研究に加え、上記の細胞模倣系を食品や医療へ応用することで社会へ貢献すると共に、将来の女性研究者の育成にも寄与したいと考えています。



第2回 辻村みちよ賞

光畑 由佳氏

(有限会社モーハウス代表取締役 茨城大学社会連携センター特命教授)

このたびは研究者でもない私のような立場の者に素晴らしい賞を授けていただけることに恐縮しております。出産をきっかけに、大学での学びをベースに服を作りはじめ、この服によって女性の活躍の場を広げたいと活動してきました。学問がどれだけ身になっているかは心許ありませんが、大学で学んだ精神は私の根幹になっていると思います。改めて、いつも支え応援して下さいました同窓の方々、大学に感謝いたします。今後も、大学で学んだ経験を礎に、女性の活躍の一助になる活動を続けていきたいと思っております。

